

一液水性弾性エポキシ樹脂系サーフェーサー

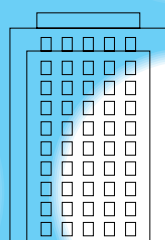


JIS A 6909 建築用仕上塗材
認証番号 JP0508061, JP0508062
可とう形改修塗材RE

水性弾性サーフェーエポ

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

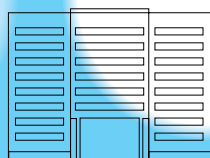
エポで
下地を
強固に



弾性塗膜で
優れた
防水性



防かび
防藻性



サーフェーサーが、
強固に、防水性を高め、進化した!!



エスケー化研

一液水性弾性エポキシ樹脂系サーフェーサー

水性弾性サーフエポ

架橋塗膜が下地と強固に付着すると共に、弾性塗膜により防水性を飛躍的に高めます

水性弾性サーフエポは、特殊エポキシ樹脂をベースとする塗り替え専用のサーフェーサーです。架橋構造による強靱な塗膜は、各種旧塗膜に強固に付着すると共に、弾性機能があり、防水性を高めます。

なお、上塗材には水性・弱溶剤形を問わず各種の弾性仕上材が適用できます。

また「シーラー機能」「フィラー機能」「中塗り機能」を兼ね備えているため、大幅な工期の短縮につながります。

特長

幅広い付着適用性

各種旧塗膜や、各種の弾性仕上塗材（水性・弱溶剤形）と強固に付着するため、塗り替え工事に幅広く対応できます。

優れた防水性

弾性機能を有しているため、旧塗膜に発生しているひび割れを補強し、防水性を向上させます。

工期の短縮

一つの材料で「シーラー機能」「フィラー機能」「中塗り機能」を兼ね備えているため、工期の大幅な短縮につながります。

一液水性

内部架橋タイプの水性特殊エポキシ樹脂の採用により、臭気が少なく安全な製品を実現しました。

防かび・防藻性

特殊設計により、防かび・防藻機能を発揮することで、衛生的な環境を維持します。

適用下地

旧塗膜：エマルジョンペイント、リシン、スキン※、スタッコ、吹付タイル（硬質・弾性）、単層弾性塗材などの活膜（付着強度が0.7N/mm²以上）。

※スキンの改修については、最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。



コミュニタス千代が丘

大町団地

シュリアン周船寺



水性弾性サーフェポには可とう形改修塗材RE仕様と防水形仕上げ仕様があります。

標準施工仕様

●可とう形改修塗材RE仕様

○共通項目

(20℃、65%RH)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行って下さい。なお、セメント系下地調整材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、適切な下塗材を塗付して下さい。 高圧洗浄(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。 							—

○薄付け仕上げ

1 下塗り	※1,2 水性弾性サーフェポ	100	0.3~1.0	1~2	3以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー(ウールローラー) ●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量: 400~600ml/分 パターン幅: 25~30cm ●リシンガン 口径: 4~6mm 圧力: 392~588kPa(4~6kgf/cm²)
	清水	6~10	—					

○厚付け仕上げ

1 下塗り	※1,2 水性弾性サーフェポ	100	0.8~1.5	1~2	3以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー(マッシュクローラー) ●リシンガン 口径: 4~6mm 圧力: 392~588kPa(4~6kgf/cm²)
	清水	3~5	—					

※1) 水性弾性サーフェポの所要量は、薄付け仕上げの場合0.30~0.80kg/m²、厚付け仕上げの場合0.80~1.5kg/m²となります。

※2) 上塗り材に水性製品を使用する場合は、工程間隔時間が3時間以上(薄付け仕上げ)、または6時間以上(厚付け仕上げ)になります。詳しくは別途お問い合わせ下さい。

●防水形仕上げ仕様

(20℃、65%RH)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行って下さい。なお、セメント系下地調整材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、適切な下塗材を塗付して下さい。 高圧洗浄(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。 							—
1 下塗り	水性弾性サーフェポ	100	2.2~2.6	2	6以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●M-9ローラー(マッシュクローラー)
	清水	3~5	—					
2 上塗り	※1,2 水性弾性セラタイトSi 主剤	100	0.30~0.35	2	2以上	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量: 800~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	水性弾性セラタイトSi 硬化剤	5						
	清水	0~20	—					

※1) 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。

※2) 上塗り材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用して下さい。なお、希釈率は、色相及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承下さい。

●水希釈率と塗装器具の関係

用途	塗装器具	水希釈率 (重量比%)
既存塗膜のパターンを生かす(薄付け仕上げ)	刷毛・ウールローラー・SPローラー・リシンガン エアレススプレーガン	6~10
既存塗膜のパターンを消し、ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	M-9ローラー(マッシュクローラー)	3~5

施工上の注意

- 旧塗膜は活膜(付着強さ0.7N/mm²以上)であることが条件です。
- 旧塗膜の状態により、シーラー(例:★ミラクシーラーES、SK水性弾性シーラー)を目荒らしが必要な場合があります。また、旧塗膜が高弾性の場合は適用できないことがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
- 上塗りは、水性または弱溶剤形とし、強溶剤形は使用しないで下さい。
- 超低汚染型塗料は、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーで攪拌混合して下さい。主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合は、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守して下さい。また材料調合後は、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにして下さい。
- 超低汚染型塗料をご使用の場合、「SKカビ除去剤#5」にて拭き取って下さい。
- 旧塗膜の種類、形状、状況により、所要量が変わることがあります。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、(湿度85%以上)での施工は原則的に避けて下さい。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にして下さい。
- 塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けて下さい。
- 改修工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異常が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防藻、防かび性は繁殖の抑制の効果を示すものです。すでにかびや藻が付着している場合は、これを除去するなどの適切な下地処理してから塗装して下さい。
- かび、藻が付着している場合は、「SKカビ除去剤#5」にて拭き取って下さい。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌して下さい。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、若干の色相差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりの性を確認した上で希釈量等を決定して下さい。

- 上塗り工程では、刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がりの違いによる若干の色相差を生じることがあります。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けて下さい。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装して下さい。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去して下さい。なお、シミが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去して下さい。
- 超低汚染型塗料をご使用の場合は、施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木など、水切りのない部位、窓廻りなどで十分な場合、雨がかからない部位は、注意が必要です。
- 超低汚染型塗料をご使用の場合は、むらなく均一に塗付して下さい。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意して下さい。また、タッチアップに使用する上塗り材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離しないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにして下さい。
- 超低汚染型塗料は、鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- 陶磁器・タイル・洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行って下さい。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業形サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜のふくれ、はがれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談下さい。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせ下さい。
- 間隔が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けて下さい。
- 露出鉄筋部の処理でアルカリ付与剤を施した場合、その影響で塗膜の剥離を生じることがありますので、シーラー工程が必要になります。

塗り替えでワングレードアップの仕様を提案します。

高弾性・高耐久型サーフェーサー と 超耐候・超低汚染仕上塗材

推薦する上塗材

【水性】

超低汚染・超耐候

- ★水性弾性セラタイトF(ふっ素樹脂系)
- ★水性弾性セラタイトSi(アクリルシリコン樹脂系)

低汚染・超耐候

- 水性弾性セラミシリコン(セラミックシリコン樹脂系)

超耐候

- 水性弾性コンポリシリコン(アクリルシリコン樹脂系)

高耐候

- 水性弾性コンポウレタン(ポリウレタン樹脂系)

【弱溶剤形】

超低汚染・超耐候

- ★弾性クリーンマイルドフッソ(ふっ素樹脂系)
- ★弾性クリーンマイルドシリコン(アクリルシリコン樹脂系)

超低汚染・高耐候

- ★弾性クリーンマイルドウレタン(ポリウレタン樹脂系)

※1.上記製品の他、汎用の水性上塗材SK水性ELコート(アクリル樹脂系)もご使用いただけます。
 ※2.上記製品を使った仕様について、詳しくは別途最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。

性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材REによる物性結果

試験項目	結果	品質
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがないこと。
付着強さ	標準状態 N/mm ²	1.2 1.0以上
	浸水後 N/mm ²	1.0 0.7以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。
透水性 B法(ml)	0.0	0.5以下
耐衝撃性	合格	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。
ひび割れ充てん性	合格	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと。
耐候性 A法	合格	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。
可とう性	合格	ひび割れがないこと。



荷姿

- 水性弾性サーフェーサー —— 16kg石油缶
- 水性弾性セラタイトSi —— 15.75kgセット(45~53m²/セット)
 (主剤 15kg/缶、★硬化剤 0.75kg/缶)
 4.2kgセット(12~14m²/セット)
 (主剤 4kg/缶、★硬化剤 0.2kg/缶)

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの製品安全データシート(MSDS)に従って下さい。
 特に★印の付いている製品(★は硬化剤のみ)は溶剤形のため、下記の点に注意して下さい。

- 1) 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 2) 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクなどの安全対策を行って下さい。
- 3) 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意して下さい。



本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
 東 京 支 社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601 埼玉支店 ☎048-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-278-4951
 仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094 東京営業所 ☎03-3204-6601 静岡営業所 ☎054-284-1877 大阪住野営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京営業所 ☎03-3204-6602 浜松営業所 ☎053-462-7021 南大阪営業所 ☎072-253-1910 香住営業所 ☎092-622-5562
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 東京開発本部 ☎03-3204-6603 三河営業所 ☎0564-28-1614 神戸営業所 ☎078-671-0451 大分出張所 ☎097-523-2861
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅開発部 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 姫路出張所 ☎0792-33-7371 長崎営業所 ☎095-887-0871
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
 前橋営業所 ☎027-265-4100 埼玉住宅開発部 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島住宅開発部 ☎082-278-4951 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
 長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
 松本出張所 ☎0263-40-3644 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-236-5101 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041
 水戸営業所 ☎029-251-6515 東京住宅開発部 ☎045-820-5525 京都営業所 ☎075-846-3967 松山出張所 ☎089-968-7240
 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にして下さい。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店